

ブンゴキムラグモ *Heptathela kikuyai* Ono

古蛛亜目
ARCHAEOTHELAE
キムラグモ科
Heptathelidae

カテゴリー

大分県 地域個体群
環境庁

選定理由 生息北限地帯のキムラグモ個体群で、最近の開発企画がこの北限地帯において、大規模・高頻度で計画されつつあり、地域個体群そのものの生息状況が急激に劣化しつつある。

県内分布 日田市, 玖珠町(一部山国町), 安心院町, 山香町, 日出町, 以南

分布域 福岡県八女地方, 大分県, 宮崎県北部(熊本県北東部を含む)

生息環境 標高900m以下の斜面林床, 草地, 裸崖地などに, 地表面に直接穿孔して生息巣をつくり, 歩行性昆虫類を捕食する。

現 状 特に標高200~400m地帯で, 開発行為による個体群が消滅した事例が多い。

キノボリトタテグモ *Ummidia fragaria* (Donitz)

原蛛亜目
PROTOTHELAE
トタテグモ科
Ctenizidae

カテゴリー

大分県 IA
環境庁 準

選定理由 自然林, 社寺林の大径木樹皮などに袋状生活を造成して生息する習性を持つが, これらの樹木類に関する管理などにより個体数が急減している。

県内分布 県内全域の標高0~800m地帯の大径木, 自然崖の乾燥した場所

分布域 本州南部, 四国, 九州, 南西諸島

生息環境 大径木の樹皮で, 照葉樹のうち, コジイ, タブノキ, クスノキ, イチイガシなど, 針葉樹のうち, スギ, ヒノキ, マツ類, 落葉樹でカキノキ, ケヤキなどに営巣する。

現 状 県内では, ほとんど目撃できなくなった。1999年12月現在, 17例が確認されている。

マシラグモ *Leptoneta* sp.

新蛛亜目
METATHELAE
マシラグモ科
Leptonetidae

カテゴリー

大分県 地域個体群
環境庁 掲載なし

選定理由 洞窟など暗環境に適応するクモで, 各洞窟, 各暗環境ごとに, いくつかのタイプの種にかたよる傾向がある。環境条件の変化に鋭敏であるため, 個体群そのものの消滅のおそれが高い。

県内分布 山国町, 耶馬溪町, 本耶馬溪町, 前津江村, 安心院町, 豊後高田市, 香々地町, 上津江村, 九重町, 山香町, 湯布院町, 別府市, 直入町, 大分市, 竹田市, 緒方町, 清川村, 三重町, 野津町, 臼杵市, 津久見市, 本匠村, 弥生町, 佐伯市, 鶴見町, 米水津村, 宇目町, 蒲江町

分布域

生息環境 石灰洞, 侵食洞, 岩裂, 暗渠, 古い人工洞などの壁面で湿度の高い凸凹面。

現 状 自然洞に対する人為的破壊, 明環境化, コンクリート板覆などによって, 生息環境が消滅しつつあり, これに伴って, 個体数は急減している。

備 考 日本固有属, 日本固有種。日本哺乳類学会: 保護すべき地域個体群(九州)